

人類社会と国家の発展

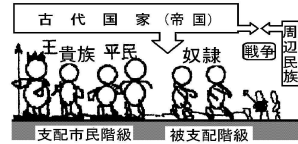
— 私たちの人類社会は、どのように変化・発展してきたのでしょうか —

(1) 原始社会 (呪術的部族共同体)



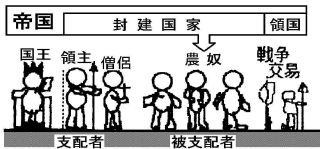
- ・ 族長が部族をまとめる。長老による共同体統率
- ・ 靈魂崇拝(アニミズム)、シャーマニズムなどによる呪術的秩序(生存の因果を幻想に求め呪術で解決)

(2) 古代社会 (神権・奴隷制国家)



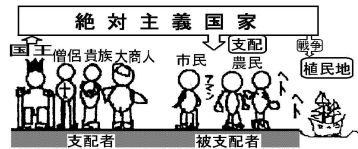
- ・ 王(皇帝)は「神または神の司祭」として他を支配・強制
- ・ 平民・奴隷は、税負担または強制労働
- ・ 神秘的権威と武力による組織的な支配制度の確立

(3) 中世社会 (封建国家)



- ・ 領主は、宗教的な権威を利用して、武力で農民支配
- ・ 国王と領主間は、領土をめぐる封建的主従関係(身分)
- ・ 農村共同体間に、[交易と中世都市の発達] 市民の成長

(4) 近代社会(A) (絶対主義国家)—17・18世紀—



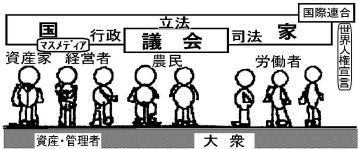
- ・ 絶対君主(国王)の、王権神授説による独裁政治
⇒ 軍隊と官僚による市民・農民支配
- ・ 国王は、大商人(特権商人)と結び重商主義政策
⇒ 経済発展⇒資本主義の成立

(5) 近代社会(B) (夜警国家)—19世紀—



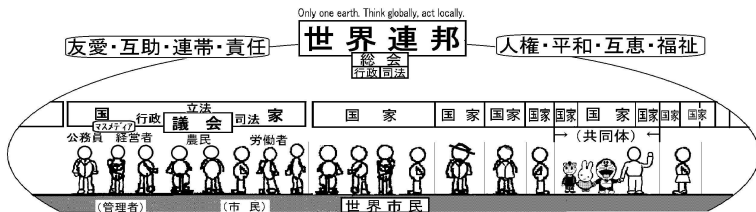
- ・ 市民革命による絶対主義の打倒⇒自由主義の成立
- ・ 政治と宗教の分離、無産農民の労働者・貧民化
- ・ 産業革命⇒資本家と労働者の対立⇒社会主義運動
- ・ 議会による制限民主制(有産階級のみ参政権)

(6) 現代社会 (福祉国家)—20世紀—



- ・ 選挙権の拡大⇒大衆民主主義の実現
- ・ 組織の巨大化、マスコミの発達、世論の操作
- ・ [福祉国家] 社会政策の推進(国家による富の再分配)
- ・ 高度に発達した資本主義 ⇒ 金融・独占資本主義

- ◇ 国家とは、軍隊、警察、官僚などの強制力(権力)をもつ組織である。国家は、かつては王や領主・貴族などが市民や農民・労働者を支配して、秩序を維持利権を調整する権力機構であった。
- ◇ 現代国家においては、経済成長と大衆民主主義によって、国家による富の再分配が行われ、絶対的貧困は減少したが、経済格差は拡大している。
- ◇ 現代国家の理念は、自由・平等・生存権を中心とする**基本的人権の保障**であるが、国家の政策は社会的利害を反映した選挙結果によって決定する。社会的利害は、経済的利害だけでなくイデオロギー的利害を含む。



◇ 世界連邦とグローバル市民主義：世界政府による利害調整と社会的責任にもとづく市場経済の推進、人類福祉の実現